

命よ輝け^①

参院議員・比例候補

井上さとし物語

野党共闘をすすめる
日本共産党の参院国対
委員長として力をつく
す井上さとし参院議員
・比例候補。「憲法と
命輝く政治」へ全力を
あげ来年の参院選で4
期目をめざします。

「人間の姿で死ぬこ
ともできなかった先輩
たちがたくさんいた」

原爆許せない

井上さんは、広島で
育った被爆2世です。
高校は爆心地に近い国
泰寺高校。前身の広島
1中の1年生は、19
45年8月6日の朝、
投下された原子力爆弾
ではば全滅しました。
広島市内で延焼防止の
ための建物疎開などの
作業をしていて原爆の

直撃を受けました。

そのことを知ったの
はちょうど同じ高校1
年生の時でした。構内
で映画「ひろしま」の
上映会があり、広島1
中も舞台の一つになっ
ていました。

党との出会い

「夢を持っていた先
輩が一瞬のうちに亡く
なった。人間の姿です
ら死ねなかった。衝
撃的でした。」原爆そ

のものが許せない」

「戦争になぜ突入して
いったのか。井上さん
はしだいに「理不尽な
ものには頭を垂れずに
向き合う生き方をした
い」「だれもが亡くなる
瞬間まで人間らしく生
き、輝ける。そんな社
会をつくりたい」と思
うようになりました。

そんななか、大学1
年の時、出会ったのが
日本共産党でした。入
学した京都大学は当
時、赤ヘル暴力集団が
跋扈(はつこ)してお
り、講義ができません



核兵器の禁止・廃絶について政府の姿勢を追及する井
上さとし参院議員。3月20日、参院外交防衛委員会

一瞬で消えた先輩たち

でした。大学でありな
がら学問の自由がな
い。立ち向かう学生た
ちがいまして。自治会
活動の先頭に立ってい
たのが、日本民主青年
同盟員や日本共産党員
でした。話を聞いたら
正しい。「おかしいこ
とには立ち向かおうと
決めていたのだから、
納得したらやるしかな
い」。日本共産党に入
党しました。

大学1年の夏、原水
爆禁止世界大会にはじ
めて参加しました。広
島にいた時は、毎年8
月になると、全国から
いっぱい人が来ること
に反発する気持ちが少
しありました。しかし
、自ら参加するにあ
たり、核兵器廃絶を求
める署名・募金活動で
地域に入り、街頭に立
つなか、参加者の一人
ひとりに草の根の活動
があることを知りまし
た。その中心にも日本
共産党員がいまして。

「この党に入って間違
いではなかった」「理
不尽な兵器をなくした
い。それを許す理不尽
なものに立ち向かい、
人間らしい生き方がで
きる世の中をつくりた
い」。井上さんは思い
を強くしました。

実は、井上さんが被
爆2世だと知ったのは
30歳のころのある夏の
日のことでした。母親
から原爆手帳を取った
と告白されました。被
爆のことなど、それま
で一言もしゃべったこ
とがありませんでし
た。原爆投下の時、母
親は女学校の講堂で避
難してきた被爆者を看
護しました。井上さん
には2人の姉がいたた
め、偏見もあるからと
黙っていたといいま
す。ずっと苦にして、
子どもにすら秘密にし
てきた母親。「原爆と
は何と罪深いものなの
か」

(つづく)